

<その他>

新LGWANネットワークの構築について

1 防災無線による現LGWAN回線の問題点

現状のLGWANで使用しているネットワークは、防災局災害対策課管轄の高度情報通信ネットワーク（防災無線ネットワーク）を借用しているため、防災無線の中継局設備、市町村設備の定期点検により、それぞれ30分から1時間程度ネットワークの停止が発生する。

また、現ネットワークでは、障害による冗長化対策がなされていないため、長時間のネットワークの停止が発生している。

さらに、現ネットワークでは、無線を使用しているため、自然現象等の影響を受けやすく、頻繁にネットワークの切断や不安定な状態が発生している。

機器障害、回線障害が発生した場合、高度情報通信ネットワークでの機器交換、回線修理を待つ必要があり、LGWANとして回線の品質を保証しているとは言い難い。

高度情報通信ネットワークは、防災局災害対策課管轄の設備であり、今後のネットワークの通信量増加による増速が難しい。

障害発生団体	障害発生日	対応完了日	主な障害内容 / 対応内容
西尾市、高浜市 碧南市	6月7日	6月8日	八ツ面山中継所ルータの故障による通信断 NPEモジュールの交換
安城市	6月30日	-	西三河事務所 - 安城市間にマンションが建設されたことによる無線障害 建設が終了し、自然復旧 * 通信レベルは、非常に悪いものの、7月10日以降、障害は検知していない。
犬山市	8月12日	8月12日	犬山市で雷により停電があり、ルータの再起動不良 ルータのON/OFFにより復旧
三好町	10月12日	10月13日	炮烙山中継所及び三好町のルータ障害 炮烙山中継所の三好町向けのコンフィグ情報を設定
設楽町、東栄町 豊根村、富山村	10月21日	10月21日	茶臼山中継所で設定中にルータが停止 ルータを再起動し、コンフィグ情報を設定

2 構築方針

通信事業者が提供している閉域網サービス(IP-VPN)をメイン回線として使用することで、LGWANとしての回線品質の保証、拡張性を高める。

現在使用している高度情報通信ネットワークを、迂回路として利用することでより高い冗長性を確保する。

3 構築時期

- 平成19年4月 システム設計
- 平成19年6月 ネットワーク機器、回線整備
- 平成19年8月 共通基盤整備
- 平成19年9月 市町村基盤整備